事務局ニュース10-NO.6 2010. 12. 24 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

①「放課後児童クラブ運営基準点検結果」が公開されました。
自分の地域の点検結果を確認して、運動に生かしましょう！

②県連協「大規模問題追跡調査第３弾」がまとまりました。
大規模学童保育の分轄増設のとりくみにご活用下さい！

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．埼玉県・県議会の動き

（１）県が国へ「平成23年度施策に対する提案・要望＜後期＞」を提出　10月（**▲4**ﾍﾟｰ）
学童保育に関しては、「大規模放課後児童クラブに対する運営費補助の延長」を要望しています。
http://www.pref.saitama.lg.jp/uploaded/attachment/417422.pdf

（２）少子政策課 市町村へ「放課後児童クラブ運営基準の点検結果」を通知 12月17日
埼玉県は、2004年３月に全国に先駆けて「放課後児童クラブ運営基準」を策定しました。県は、2004年度から毎年、市町村に対して運営基準に掲げる225項目について実施状況を点検調査し、その結果を県庁ホームページで公表しています。 http://www.pref.saitama.lg.jp/page/houkago-tenken.html
県少子政策課は、今年度の調査結果を12月17日付けで市町村へ通知し、併せてＨＰでも公開しました。また、昨年度からは、「特に改善が求められる事項」を挙げて改善を促しています。今回は、昨年度の指摘に加えて、「指導員の体制」（「指導員勤務規程を策定している」、「指導員の役割と仕事内容から、運営形態に関わらず、常勤指導員を複数配置している」等）を掲げて改善を促しています（**▲別紙**）。
この調査結果を県庁ＨＰを閲覧して、内容を是非、確認して下さい。
「運営基準点検表集計結果」（**▲別紙一部**）は、調査結果の概要となっており、今回の調査結果の特徴を指摘しています。また、「各市一覧表」「各町村一覧表」は、政令市（さいたま市）と中核市（川越市）を除いた全市町村の結果が各市町村のクラブ分の集計という形で掲載されています。
みなさんのそれぞれの地域で、①そもそも、市町村が正確に調査を行っているか　②何が自分の地域の課題・問題かを、全県や他市町村との比較で明らかにして話し合って下さい。

（３）県議会　公明・久保田氏が「放課後子ども教室」について質問

12月７月、久保田厚子氏（公明・越谷選挙区）が、「放課後子ども教室について」以下のように質問しました。 下線は事務局。

「『放課後子ども教室』の拡充が急務となっています。働きたいと考えるお母さんが増えるなか、全学年を通して、特に４年生以上の放課後の居場所の確保が難しくなっています。『放課後いきいき応援隊』等を活用して福祉部と教育局で連携して『放課後子ども教室』を推進していくことについて質します」

これに対して前島富雄教育長が、「『放課後子ども教室』は…人材の確保が難しいと聞いており、『放課後いきいき応援隊』は、これを支える人材として有効だと考えます。応援隊の研修会に教育局からも出向き、多くの方に参加していただけるよう働きかけていきます」と答弁しました。

２．　国の動き

（１）　政府　補正予算案成立で「安心こども基金」の来年度末までの延長が決定

11月26日、「円高デフレのための緊急総合経済対策」を含む政府補正予算案が成立しました。これにより、「安心こども基金」の来年度末までの延長が決定しました。

> 安心こども基金を積み増すとともに事業実施期限を平成23年度末まで延長し、保育サービスや地域子育て支援の充実、児童虐待の防止等「子ども・子育てビジョン」を推進する。

埼玉県は2009、2010年と「安心こども基金」をもとに、既存施設を改修して学童保育を増設する「放課後児童クラブ設置促進事業費」等を施策化しました。これらが、来年度も継続される可能性があります。

（２）12月15日　子ども・子育て新システムＷＴ　「障害児に対する支援」を議論

12月15日、「第７回子ども・子育て新システム検討会議作業グループ基本制度ワーキングチーム」が開催され、「障害児に対する支援について」等が議論されました。

事務局から保育所や学童保育での受け入れ、子育て支援事業のなかで障害児への支援をどのように位置づけていくかについて課題提起されました。

http://www8.cao.go.jp/shoushi/10motto/08kosodate/wg/kihon/k_7/index.html

前回の『事務局ニュース』でもお伝えした、11月15日開催の同チームにおいての「放課後児童給付（仮称）」についての討議内容も資料添付されています（※【参考２】第４回基本制度ワーキングチームにおける各委員からの主な意見）。

３．　県連協等のとりくみ

（１）第３回代表委員会を開催しました　12月４日（土）　於さいたま市桜木公民館

８市から19人が出席（※09年度＝11市19人、08年度＝８市16人）。

【内容】

１．ＶＴＲ視聴　ＮＨＫ教育テレビ「あしたをつかめ　平成若者仕事図鑑　学童保育指導員」

２．報告　①2011年度県予算へのとりくみの中間まとめ（11月11日の話し合い、25日の副知事との面談）　②県連協「大規模学童保育追跡調査結果」報告　等

３．交流・討議　①来年度予算に向けた私たちのとりくみと市町村の動き・状況の交流

②県指導員連絡協議会の専従配置に対して県連協としての支援について　決定

４．学習　「子ども・子育て新システムの動きの現状と学童保育の行方」

講師＝志村伸之さん（全国学童保育連絡協議会事務局次長）

（2）「第10回集中講座・障害児の生活づくり」１日目を開催しました　12月12日（日）
　埼玉県県民活動総合センターに30市町から162人（※09年度＝195人、08年度＝176人）が参加して開催されました。
□理論講座　「発達を学ぶ／障害児の理解を深める／障害児受け入れの際のポイント」
【講師】池添素さん（京都市らく相談室主宰）
□実践講座　「障害児を含めた生活づくりをどう進めるか」
【講師】橋本晶子さん（坂戸市あおぞらクラブ指導員）
□実践講座　「障害児学童保育の生活づくりをどう進めるか～思春期と性の問題を中心に～」
【講師】永野佑子さん（“人間と性”教育研究協議会障害児サークル代表）

４．全国学童保育連絡協議会のとりくみ

（1）厚生労働省等と交渉しました 12月17日（金）
　厚生労働省等各省庁と各政党などに、学童保育制度の拡充を求めて要望書を提出しました。
　今回は特に、政府として現在検討している「子ども・子育て新システム」の一環として検討されている「放課後児童給付（仮称）」が現状改善につながるものとなるように要望しました。

（2）来年の全国研究集会は石川県に決定　日程と会場は以下の通りです。
　全体会＝10月22日（土）　於いしかわ総合スポーツセンター
　分科会＝10月23日（日）　於金沢大学

県連協からお知らせ・お願い　(^0^)

１．『学童ほいく』誌の定着・普及・拡大を

地域連協・クラブの会議で話し合って下さい。県連協からもお願いにうかがいます。【再度】

２．県連協　当面の予定

□第10回集中講座・障害児の生活づくり・２日目
　２月20日（日）　於埼玉県県民活動総合センター
□第32回埼玉県学童保育実践交流会（**▲１月初旬にチラシを送付します**）
　２月27日（日）　於埼玉県県民活動総合センター＋上尾市文化センター
□第38回埼玉県学童保育研究集会
　５月29日（日）　於上尾市文化センター